

第8回和泉デイサービスセンター運営推進会議 会議録

事業所名	和泉デイサービスセンター わくわく館
開催日時	令和2年10月15日（火） 14時00分～15時30分
開催場所	和泉デイサービスセンター 会議室
参加者	利用者家族 1名 和泉自治会会長 1名 和泉民生委員児童委員協議会民生委員 1名 老人クラブ和泉会副会長 1名 介護支援専門員 1名 大野市民生環境部健康長寿課企画主査 1名 大野市社会福祉協議会事務局 1名 事業所職員 1名
議題	① 新型コロナウイルス感染症対策について ② 収支状況等について ③ 利用者の状況について ④ デイサービスの状況について ⑤ 転倒などの事故について ⑥ 苦情、要望などについて ⑦ 非常災害時の対応について利用者の状況について ⑧ その他
会議録	
<p>① 新型コロナウイルスについて</p> <p>辻氏：感染対策で車の窓を開けて走行するそうだが、これからの時期は冬になっていき、寒いと言われる利用者の方も多いのではないか。→事前に窓を開けることを利用者や家族に説明し了解を得るようにする。窓は対角線上に開けると効果が高い。</p> <p>森尾氏：密を回避するため、車に乗る人数を減らした方が良いが、車の移動距離が遠いためどうしても相乗にせざるを得ない。対策としては、車内での会話を控えるなどが考えられる。</p>	

三嶋氏：利用者間で距離を取る事(具体的にベッドを離したり対面を避けるなど)は家族に伝えてあるのか。→利用者や家族に事前に説明し、了解を得るようにしている。

辻氏：感染者が出たら、どのくらいまで PCR 検査を考えているのか。感染者が出た場合は接触があった人が安心できるような対応を取ってもらった方がよい。例えば関係者全員が PCR 検査を受けてもらえると安心できるのではないか。感染者が出た場合のマニュアルを作るべきではないのか。→現時点では感染者が出た場合 2 週間の自宅待機が全員に課せられる。感染者が出た際に PCR 検査を行うかなどの詳しいことに関する取り決めはないが、感染者が出た場合などは保健所が聞き取り取り調査を行い判断する。マニュアルに関してもコロナに関しては初めて経験することも多く、まだ手探りで対応を行っているのが現実である。

東氏：いつまで他県との往来はダメなのか。県外者との接触があり、デイサービスの利用を 1 週間控えたことで、体力の低下や生活リズムの乱れなどが出てしまい本人も辛い。→強制はできないが、万一のことを考え他県の方との接触があった場合は 1 週間の利用を控えるようお願いしている。大野市内の事業所によっても対応の差がある。今後、状況を見て対応を変えていきたい。国も対応の最終的な判断は施設の管理者に一任しているので、判断が難しいところである。

嶋氏：工事関係の人は他県との往来が多いので、そこからコロナの感染者が出ないか心配である。

②収支状況等について

- ・利用人数は 200 人程度減った。理由としては夫婦で利用していた方々が亡くなられたり、家族のもとへ行ったりしたことが考えられる。支出が増えたのは水中ポンプの修理で 96 万円ほどかかったことが考えられる。

③利用者の状況について

- ・介護度の推移では介護度が上がった人が 1 人。変化なしが 9 人。新規が 2 人。改善が 1 人。

④デイサービスの状況について

- ・今年から 12 月 28 日までの営業から 12 月 30 日までの営業となった。
- ・交流会などの行事はコロナの影響で受け入れ中止している。

⑤転倒などの事故について

- ・特になし

⑥苦情、要望について

- ・特になし

⑦非常災害時の対応について

辻氏：災害時の避難についてマニュアル等はあるのか。→危険地域にも指定されているので、防災計画を毎年消防署に提出している。

⑧その他

東氏：給食のメニューが10日過ぎに出ることがある月初めにもらえるとうれしい。

東氏：日報の連絡内容をもう少し詳しく書いて欲しい。今日はこんなことがありましたなど書いてくれると家族としても嬉しい。